

「FOLLOW」

～弟子としなさい!!～

マタイ4:19、28:18～20

先週は韓国の方々が日本に来てくださり賛美の学びを共に学べたことを心から感謝します。その最中に北朝鮮と韓国が今後回復の時をもたらされました。北朝鮮との回復は韓国のキリスト教会が本当に何十年もの間、犠牲と涙の祈りで仕えてきた大きなテーマでした。同じ同胞の民が争って、そして文化を違えそしてその中で人々を苦しめてきた歴史があります。ある日ある時、家族がその日から突然見えなくなる。しかし、そのような流れの中でも神様はたくさんの方を人々に教訓として示しました。そして祈ることを通して回復がなされることを伝えてきました。歴史は絶えずそれを繰り返します。私達はいつも祈るべきであり、失望してはならないことを聖書はたくさんの方々の歴史を通して私達に残しました。

今回韓国のチェ先生と交わる中で北朝鮮と韓国が今後どのようになるかを話したら、一番大きなテーマが『価値観の違いである』と言われました。幼い頃から長い間、北朝鮮の子ども達は韓国は敵であることを教えられてきました。その価値観をどのように克服するかが大きなテーマです。独裁国が人々を教育する時、1人の独裁者に従うように絶えず敵と味方を作る必要があります。独裁するためには敵が必要なのです。このような教育は、与えるものではなく奪うものなのです。

■ なぜ神様はアダムの骨からイブを作ったか？

人類が一番最初に示された命令は何か。「生めよ。ふえよ。地を満たせ。地を従えよ。海の魚、空の鳥、地をほすすべての生き物を支配せよ。」その時、神様はアダムを作り、その後イブを作りましたがイブを作った時どのようにして作りましたか？別に神様はアダムから骨を取って作らなくても良かったのですが、神様は最初にアダムを想像して、地の塵から作り、その後イブにアダムの肋骨を取って作りました。最初の人、最初の想像の段階で与えることを学んだんです。

■ 弟子づくり

イエス様が33年の生涯全てを通して私達にしようとしたことがありました。それは弟子づくりです。自らが生きる生き方を思う弟子を育てる方法でした。イエス様の誕生に大切なスタートがあります。イエス様はどのようにして生まれたか？ピリピ 2:6-7 キリストは、神の御姿であられる方なのに、神のあり方を捨てることできないとは考えないで、ご自分を無にして、仕える者の姿をとり、人間と同じようになられたのです。

■ 絶えずどうぞどうぞ

イエス様は与えることの喜びをとことん自らを無にすることで弟子たちに示しました。そしてその中で彼らに伝えたかったことは裸で生まれて来たイエス・キリストの姿です。イエス様は自らが持っているとは言わなかったのです。父が持っているものを私があなた方に与えるのだといったのです。ここが大切なことです。神様がイエス様の生涯を通して弟子たちに伝えたかったことは自らの物では無いということ。命を掛けて伝えたのです。イエス様が自らの人生で、自らの物だと言ったことがありましたか？自分が持っているものを自分のものにしなさい。と、自分で自分のものにした時からそれを失うのです。

マタイ 16:25 いのちを救おうと思う者はそれを失い、わたしのためにいのちを失う者は、それを見いだすのです。誰でも自らのそれを捨てるものは全てをえる

■ FOLLOW

FOLLOW、今日本では助けると使います。しかし、FOLLOW の意味は『付いて行く』

マタ 4:19 イエスは彼らに言われた。「わたしについて来なさい。あなたがたを、人間をとる漁師にしてあげよう。」
マタ 28:18 イエスは近づいて来て、彼らにこう言われた。「わたしには天においても、地においても、いっさいの権威が与えられています。」
28:19 それゆえ、あなたがたは行って、あらゆる国の人々を弟子としなさい。そして、父、子、聖霊の御名によってバプテスマを授け、
28:20 また、わたしがあなたがたに命じておいたすべてのことを守るように、彼らを教えなさい。見よ。わたしは、世の終わりまで、いつも、あなたがたとともにいます。」

■ ① 神様と共に第一に生きる姿

私達クリスチャンは出来ることがあります、それは神様を大事にする生き方が出来ることです。私達は失敗もするし、間違った行動もとるけれど神様を選ぶ行動を見せることができます。失敗した時に神様の前に出ることを教えられます。日曜日を大事にすることが教えられます。早く来て奉仕をする姿が教えられます。間違った時謝ることが教えられます。神様を第一にすることが教えられます。そしてそのお手本は誰でしたか？それはイエス・キリストです。イエス様は苦しい時、ゲセマネに出て行って祈りました。自分に向かってくる兵隊の耳を治しました。右の頬を撃つものに左の頬を差し出しました。服はくじ引きで分けられ、下着まで与えました。イエス様は言ったことをやったんです。弟子づくりで大切なことは言ったことをやろうとする。行動を見せることです。私達はイエス様の行動全てを行うことはできないですがしかし、イエス様のこの部分は私は生涯を掛けて貫くんだと思はないといけません。ある人は諦めないこと、ある人は命を掛けてやることこのことをしなさいといけないと思う信念が必要なんです。

■ ② 仕える姿～給仕～

教える師は仕えることなんです。自分の人生をロウソクのように、自らを減らして自らが見せなければならないのです。子ども達に命令してやれと言っても子どもはやらなのです。イエス様は馬小屋に生まれて33年間やりました。12人の弟子を育てるために命を掛けたんです。

■ ③ 与える～与えることは、給仕なんです。

ルカ 22:25 すると、イエスは彼らに言われた。「異邦人の王たちは人々を支配し、また人々の上に権威を持つ者は守護者と呼ばれています。22:26 だが、あなたがたは、それではいけません。あなたがたの間で一番偉い人は一番年の若い者のようになりなさい。また、治める人は仕える人のようにありなさい。22:27 食卓に着く人と給仕する者と、どちらが偉いでしょう。むしろ、食卓に着く人でしょう。しかしわたしは、あなたがたのうちにあって給仕する者のようにしています。」

オンヌリ教会の長老たちは早天祈禱会の前に-20℃の中、4時に教会に行き、5時から始まる早天祈禱会の為に駐車場係をします。それは地域の方に証とするためであったり、教会のトイレは長老たち自らが掃除しています。彼らがしていることは教えではなく心なんです。オンヌリ教会は大きな教会を建てるのを止めてCGNTVを作りました。世界のむくくの教会にメッセージを伝えるために、自分達は教会を立てる必要は無いと言ったのです。仕える教会のDNAは継承されていくんです。オンヌリ教会の先生はみな『ハヨンジョン、ハヨンジョン』と言うんです。それはハ先生を尊敬しているのです。流すことに徹底していた心に尊敬したのです。私達がしないといけないことは、心なんです。心さえ有れば、マニュアルなどなくても伝わるし出来るんです。なぜ、今回両備が来てふるさとに助けて欲しいと言うのか？両備にはお金も有るし、岡山でトップ企業が優秀な従業員も沢山いるのになぜ小さな団体のふるさとに依頼が来たのか？それは心が伝わっているのです。イエス・キリストが行うことはそういうコトなんです。

私達はただで受けたから子どもに与えることを見てください。子どもに捧げることを見てください。子どもを豊かにしてあげたいと思うなら神様から預かったものを流す事を見てください。神様を第一にし、礼拝を重んじる姿を見せてください。祈る姿を見せてください。聖書は一言『FOLLOW』私に付いてきなさい。そして全ての作られたものを弟子としなさい。私が愛したように愛しなさい。聖書が伝えたのはこのことだけだったのではないですか。付いてこい、愛せ、弟子とせよ。聖書が重んじたことはこのことだけなんです。あなたの思いを継承する弟子を作ってください。

(要約者: 泉水 浩)

(2018年5月13日)